

2008原水禁世界大会に参加して

原水爆禁止2008年世界大会に初めて参加して、広島行きの新幹線に乗るまでは、何もかもが不安でした。でも広島へ着いたら度胸がすわったのか大丈夫と思えてきました。県立総合体育館グリーンアリーナには、各種団体が各国、各県から折りづるをもって多く参加していました。世界で唯一の被爆国日本で尊い命を失った人や、今なお苦しんでいる人がいます。平和を願いあの63年前を2度と繰り返してはいけないと思いで集まってきました。

私は今まで署名運動も気軽に考えていましたが今回参加した事で、平和運動への1歩は始まったように思われます。60年以上もたっているあの日から、今も続く2世、3世の被爆者、夏の日にやけどを通りすぎ、炭のように焼けた身体に油をぬってもらっていました。どんなに痛かっただろうに、苦しかっただろにと思います。

乳飲み子を抱いて、もう亡くなっているのに子をはなさない母、自分もやけどがひどく痛いだろうに悲しすぎます。そんな写真も残っていた資料館でした。

分科会で私は「核兵器廃絶と憲法9条」という所に行きました。その中である青年が「私は改姓派です」と叫んだ。その時、あっちこっちから「何を考えているんだ」、「何を解せんんだ」といろいろな声が飛びました。この青年は最初に教えてもらった友や先生が間違っていたのではないか、それを正しいと思い自分の意見として言った。その勇気は買ってやりたいと思いますがこれから正しい憲法のあり方を知って欲しいと思います。

9条は、日本にしかない大切なもの、変えてはいけないそんな気持ちになってくれたらと思っています。

憲法にふれる機会が少ないので9条の意味も判りずらいと思います。私もよく判りません。今も被爆裁判が起きています。人間はみんなが平等に生まれてきたはず、平和を願うこの地に政府は政治は何をやっているのか、型だけにとらわれず現実を見てやって欲しいと思います。

今まで真面目に考えてこなかった平和、幸せ、命についてこの度、考える場をあたえてもらった広島行きでした。

蒲原グループの皆様へ

今回、何も考えずに広島行きを返事してしまい、一日、一日、8月4日が近づくにつれ、私が何を見て何をみなさんに伝えられるのか、いろいろ不安でしたが、行ってきてあまりにも原爆の事について、知らなかった事、いや知ろうと思っていなかった事、自分が無知だった事を知り、平和、命の大切さを、まず自分の子供や孫から伝えて行きたいと思いません。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

滝沢清子